

名古屋市・静岡県との懇談会

中経連は、名古屋市・静岡県との懇談会を開催した。概要は以下のとおり。

開催日	参加者	
7月17日(水) 名古屋市との懇談会	名古屋市	河村市長、堀場副市長、伊東副市長、廣澤副市長をはじめ13名
	中経連	豊田会長、水野副会長、柘植副会長、安藤副会長をはじめ10名
7月19日(金) 静岡県との懇談会	静岡県	川勝知事、難波副知事、土屋副知事、吉林副知事をはじめ14名
	中経連	豊田会長、中西副会長、水野副会長、中田副会長、安形副会長をはじめ12名

名古屋市との懇談会



冒頭挨拶で豊田会長は、ナゴヤ イノベーターズ ガレージ開設の謝辞を述べるとともに、「世界を凌駕する新たな価値を一緒に創造していけるよう、引き続き協力をお願いしたい」と述べた。また、「中部圏の将来ビジョン、南海トラフ地震などによる経済活動への影響の最小化、中小企業の事業存続性の向上など、中経連の重点事業に対して名古屋市と課題認識を共有し、連携を進めていきたい」と要請した。

河村市長は、「イノベーションの創出によって世界に冠たる都市として名古屋の地位を確立したい。そのためにも全力で産業振興に取り組んでいく。また、その強みを生かして社会福祉のさらなる向上にもつなげていく」と述べるとともに、「なごや子ども応援委員会」の活動状況について説明した。

自由懇談では、①産学官連携によるイノベーションの推進、②自動車産業が集積する中部圏と名古屋市の道路率の高さを生かした自動運転の実証実験を行う場の構築、③名古屋駅や栄地区のみならず金山地区などを含めた名古屋市全体のまちづくりなどを中経連から要請した。

静岡県との懇談会



冒頭挨拶で豊田会長は、「静岡県と課題認識を共有し、連携を進めていきたい。具体的には、静岡県が策定した『ふじのくにICT人材確保・育成戦略』にもとづき整備を進めているオープンラボや交流拠点とナゴヤ イノベーターズ ガレージとの連携を検討いただき、新たな成長産業を一緒に創出していきたい」と要請した。

川勝知事は、「昨年度の懇談会で中経連から出された『AI・IoT人材の確保・育成に取り組むべき』との意見も踏まえて、2月に『ふじのくにICT人材確保・育成戦略』を策定した。また、『静岡県中小企業・小規模企業振興基本条例』を制定し、地域の経済や雇用を支える中小企業の成長、事業承継などの支援に取り組んでいる」と述べた。

自由懇談では、①中小企業の事業存続性の向上および生産性の向上に資する中小企業支援、②企業の成長につながる外国人材が活躍するための受入環境整備、③中小企業に配慮した防災・減災対策支援、④伝統工芸技術の保存・伝承などを中経連から要請した。

(企画部 岡戸 信之)